

事業	担当課	評価		意見
1. 宝の土地活用推進事業	企画情報課	◎	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12. 宅地造成事業と重複する部分あり。</li> <li>・年度内の目標値0を評価することはいかなものか。(2年間での目標なら、2年スパンの評価で良いのでは?)</li> <li>・2サテライトオフィスも低調で周知PRは必要。</li> <li>・企業誘致の推進が施策の主目的であり、具体的な候補地や企業等への誘致活動について示してほしい。</li> <li>・土地活用はチャンスを待つこと。</li> <li>・予算を投入しても期待した成果が得られない恐れがある。</li> <li>・旧県立大跡地の利活用も検討してはどうか?</li> <li>・企業誘致のための土地活用に真剣に取り組んでいるようには見えないため。</li> <li>・町営住宅や宅地造成地が整備されるのは大賛成。</li> </ul>
		○	7	
		△	4	
		×	2	
2. サテライトオフィス推進事業	商工観光課	◎	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業のニーズに町が応えられているか再検討してほしい。</li> <li>・変更の検討内容(チャレンジショップ)案を知りたい。</li> <li>・全国的にも同様の取り組みが行われている中で、差別化が行われていないと感じる。</li> <li>・全く縁のないところから探すのではなく、町に関係性(出身など)がある、実際の良さを知っている経営者に向けて発信してはどうか?</li> <li>・または、起業家の町として(起業者向け)にサテライトオフィスを提供する。</li> <li>・利用者のターゲットをしぼり、子連れの利用者に保育園や幼稚園の世話をするくらいの配慮が必要。</li> <li>・予算を投入しても成果がなく、今後も成果は期待できない。地域の若者のニーズをつかむ事が大事。</li> <li>・誘致業種の町としてのビジョンが必要</li> <li>・サテライトオフィスは税制面の優遇などがあると思うが、これまでの町の住民が自宅でネット企業・副業がしやすいようにしたり、フリーWi-Fiなど活用して仕事ができるようにする方がいいかも。</li> </ul>
		○	4	
		△	7	
		×	2	

事業	担当課	評価		意見
3. 起業・創業 バックアップ 事業	商工観光課	◎	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業・創業する活力のある町にすることは良いと思う。</li> <li>・アフターコロナで求められているニーズにも対応できるよう取り組んでほしい。</li> <li>・目標は達成しているが、今後継続。</li> <li>・2のサテライトオフィスの利用が芳しくないため創業者向けに提供するのにも良いのではないか。</li> <li>・企業件数は問題なし。起業した後の事業継続状況はどうか？</li> <li>・アントレプレナーは時代のニーズであり、当地でも実績があり、さらに伸ばす工夫を重ねる。</li> <li>※アントレプレナー …… 事業家や起業家を意味する言葉</li> <li>・課題を解決しながら、このまま進めていくのがよい。</li> <li>・例えばSSTRのライダーが町を気に入って長期滞在して働ける環境を整えるなど、チャレンジショップの変更は大賛成です。ネット創業も推進してほしい。飲食店同士の横のつながりを強化する。</li> </ul>
		○	6	
		△	0	
		×	0	
4. 官民共創 まちづくり戦略事業※ 「DMOによる 戦略的な観光 振興事業」から 事業名変更	商工観光課	◎	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい取組みはどんどんPRしてほしい。情報発信の方法を成功例(先進地)から学ぶ必要がある。</li> <li>・プロモーションについては、海外向けにも実施。</li> <li>・インフルエンサーの活用など、SNSでの発信にも取り組む。</li> <li>・言い方が悪いかも知れないが、奥能登国際芸術祭など他の地域のイベントの集客を利用して、通過だけでなく宝達志水町で留める施策に取り組む。</li> <li>・「口能登美食のまち」をさらに具体的にPRしてはどうか。</li> <li>・課題を解決しながら、このまま進めていくのがよい。</li> <li>・観光スポットの整備強化は新たなまち創りに効果的と思うので強化していただきたい。</li> <li>・ポイントカードは普及してきている手応えがある。「口能登・美食のまち」にチャットGPTを用いてまちづくりのアイデアを考えてもらえばどうか。</li> </ul>
		○	9	
		△	1	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
5. スポーツイベント振興事業	生涯学習課	◎	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合宿、休憩所の施設が必要。</li> <li>・町内に宿泊施設が少ないことは、今後スポーツイベントを拡大するには不利。</li> <li>・ジェットスポーツシリーズ等を含めていないのはどうか。</li> <li>・マラソンは参加者からの評判も良い。</li> <li>・宝達志水町ならではのスポーツイベントが実施できると良い。</li> <li>・イベント充実化により参加者の増加また施設の整備を進めていただきたい。</li> <li>・スポーツイベントとポイントカードを連携させたのはアイデア。</li> <li>・課題を解決しながら、今後の取り組みを一段と進めていくのがよい。</li> <li>・宝達山ヒルクライムは拡大化を図れるイベントと思われるため復活、拡大が望ましい。</li> <li>・クラファンをもっと活用しては？合宿誘致に廃校利用は効果的です。SSTRの民泊の里、農家民宿</li> </ul>
		○	10	
		△	0	
		×	0	
6. ふるさと会交流促進事業	商工観光課	◎	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSTR頼み感が強いと感じる。</li> <li>・ポイントカードの活用について説明をお願いします。(会員の増加だけではなく、如何に情報を発信するのか?)</li> <li>・関東ふるさと会とのグッドな連携はとも評価される。さらに移住者や新企業の誘致に期待。</li> <li>・関東に出てきている若年層との連結網を構築して、一段と連携、拡大を図ってほしい。</li> <li>・関東ふるさと会の方々がとても熱心。頭が下がる東京在住の学生にふるさと会サポーターになってもらい、町の魅力を発信してもらおう。町の知名度を高めると大学生なども協力しやすくなる。</li> </ul>
		○	10	
		△	0	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
7. 宝のなぎさ交流促進事業	商工観光課	◎	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良くも悪くも千里浜次第に見える。</li> <li>・ドライブウェイの通行止めも多く、養浜は必要であるが、未来永劫の養浜は難しいと思慮。</li> <li>・ドライブウェイに頼らない仕組み作りは必要。</li> <li>・開発事業者の公募準備と併せて、千里浜なぎさドライブウェイの養浜、浸食対策を進めていただきたい。</li> <li>・千里浜なぎさドライブウェイの通行止は確かに事業面ではハードルになるが、「千里浜の魅力事業化プロジェクト」で総合点検してはどうだろうか。</li> <li>・千里浜なぎさドライブウェイの通行確保が前提であり、まず養浜・護岸を進めることが重要であるため、その解決に全力で尽くすことが必要。</li> <li>・開発事業者を新たに募集したところであり、経過を見守りたい。</li> <li>・開発事業の公募の再検討を早期にお願いしたい。</li> <li>・「ハマの駅」を共同運営、株式会社にして出資者を募る。</li> </ul>
		○	6	
		△	5	
		×	0	
8. 農産物等ブランド化推進事業	農林水産課	◎	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の魅力アップにもつながる。後継者不足への対応が必要。</li> <li>・生産者減の解決策が必要。</li> <li>・高校生の生産現場での体験活動を行い、アピールできないだろうか。</li> <li>・町のふるさと納税の品目に追加してはどうか。</li> <li>・SNS等で世界への発信を行う。</li> <li>・若者に人気のある商品に活用してもらい、材料ではなく実際の品目で消費してもらう。</li> <li>・ブランド化することで価格競争ではない、生産者にも利幅が大きくなることで、以降の生産者の確保創造につながる。</li> <li>・町の特産ブランド品のPRと農業継承者(特に移住者)をセット宣伝できないだろうか(ネットを通じて)</li> <li>・今後、生産者の高齢化・廃業が起こるので生産者を含めて株式会社など企業体にしてブランド維持を図っていくべき。</li> <li>・ブランド化の成果を上げており、引き続き後継者や新規参者の育成に期待したい。</li> <li>・町のブランド農産物は他市町に取られている状態は心苦しい。イチジク、黒蜜姫、花木、ぶどう、太陽光発電と農産物のコラボ(農林水産省の事業)、ブルーベリー農業をやってみたい人はたくさんいるはず。(私もそうです。)週末農家を募って土地を無償でレンタルし、作り方も教える。</li> </ul>
		○	7	
		△	1	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
9. 新規就農者支援事業	農林水産課	◎	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ではなく、企業として農業に取り組んでどうか。(サラリーとしての農業)</li> <li>・農業を観光産業として利用できないか。(海外向け農業体験など)</li> <li>・IoTや新しい仕組みも活用していく。</li> <li>・同上。地域おこし協力隊のサポート隊が必要ではないだろうか。あるいは羽咋や中能登、七尾との連携も必要。</li> <li>・課題の解決策を図りながら、新規就農者の不安を取り除いて、安定的な収入を得やすい仕組みを検討すべき。</li> <li>・ブランド化の成果を上げており、引き続き後継者や新規参者の育成に期待したい。</li> <li>・支援制度の充実が無いと定住就農は他地域に取られるため、より充実した整備が望ましい。</li> <li>・農業をやりたい人はたくさんいるはず(私もそうです。)週末農家を募って土地を無償レンタルし、作り方も教える。</li> </ul>
		○	11	
		△	1	
		×	0	
10. 民間賃貸住宅建設補助事業	地域整備課	◎	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後に進学する生徒に対して、卒業年度(2年後、4年後)に情報が届くようにして頂きたい。</li> <li>・羽咋市の千里浜近くでは賃貸住宅の建設が進んでおり、逆風にも感じる。</li> <li>・実際の取組みもなく、中止して空き家の改善など違う取組みに資源を注力するのも検討。</li> <li>・円安が続き、資材の高騰が問題。利回りが低いと賃貸住居に手が出しにくい。しばらく様子見て継続。ただ、賃貸住宅のニーズは確実にある。</li> <li>・人口減少が進み、空き家が増えている中で、民間賃貸住宅のニーズはないと思われ、この事業は中止した方がよい。</li> <li>・民間賃貸住宅の建設促進には稼ぐ地域事業との連携も必要と思われ。</li> <li>・小学校近くの住宅が空いています。</li> </ul>
		○	9	
		△	4	
		×	2	

事業	担当課	評価		意見
11. 宝の住まいる応援事業	企画情報課	◎	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町外からの訪問者が目にする場所に看板設置で周知。</li> <li>・高校卒業後に進学する生徒に対して、卒業年度(2年後、4年後)に情報が届くようにして頂きたい。</li> <li>・実績は好調であり継続方針と考えるが、県内他の市町でも若者向けは充実している印象。</li> <li>・充実した支援制度についてPRを行っていく必要がある。</li> <li>・住宅だけでなく、事業所兼住宅や住まないが、サテライトオフィスの建築にも補助金を出してはどうか。ニーズはあるはず。</li> <li>・このまま取組内容を継続した方がよい。ただ、補助金を交付した後、その後、移転したりした場合、効果が半減するので、どうケアしていくかも必要だと思う</li> <li>・内容を見直すとともにPRの強化を図り、目玉となる他市町村に負けない支援策が必要と思われます。</li> <li>・とっても良いと思います。小学生の学力向上させるのに宝達志水町お金をかけずに頭が良くなる町だということをPRすればもっと増える。高校生になっても支援を続けられる環境整備もした方がよい。</li> </ul>
		○	12	
		△	0	
		×	0	
12. 宅地造成事業	地域整備課	◎	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者定住に向けた取組みを強化する必要あり。近隣の市町に遅れをとっている。</li> <li>・現状のスピードでは令和6年度までに指標の達成が難しく感じる。</li> <li>・分譲後利用者確保のため、早めのPRは必要。</li> <li>・50区画の目標であるが見通しは。</li> <li>・若い住宅取得希望者は、ハザードマップをよく見えています。</li> <li>・民間の業者と連携し、「里山タウン」(宝達山ふもと)、「里海タウン」(千里浜周辺)など、特色ある地域性を生かす。</li> <li>・宅地のニーズがあるのか調整してから取組内容を見直した方がよい。</li> </ul>
		○	10	
		△	3	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
13. 空き家バンク事業	企画情報課	◎	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後に進学する生徒に対して、卒業年度(2年後、4年後)に情報が届くようにして頂きたい。</li> <li>・実績は好調であり、継続して進める。</li> <li>・空き家の増加を防ぐべく、空き家バンクへの物件の登録件数も周知を進める。</li> <li>・空き家バンクで登録件数を増やすと同時に、活用の方法を所有者に提示することが大切。たとえば「お試し移住」や「子連れリモートワーク」の活用。</li> <li>・やはり課題は空き家が多くあるのに、登録件数が少ない点であり、ニーズがあることから早急に解決して、取り組みを発展させていくべき。</li> <li>・県内外からの移住者希望者の問い合わせに対する要望に応えるため、ニーズに沿った新規補助金を検討している。空き家バンクに登録されている空き家を町が先行投資をし、改修後に売買物件としてではなく、「すぐに住める状態の戸建て賃貸物件」として移住希望者にお貸ししたい。この補助事業は設置すれば、移住希望者を取りこぼす事は無く、さらなら移住者の確保をすることができる。現在、企画情報課と綿密に事業システムの構築に取り組んでいる。</li> <li>・奨励金があることを初めて知りました。夏休みだけ移住など、国内留学制度も導入してみてもは。</li> </ul>
		○	9	
		△	1	
		×	0	
14. 若者通勤サポート事業	企画情報課	◎	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請数が横這いであれば利用者が固定されている恐れがあり、転出者抑制への効果は疑問。(制度廃止しても利用者は転出しないのでは?)</li> <li>・例えば、転居者向けにも拡充。</li> <li>・転出者に占める支援対象者の割合によっては事業内容の検討が必要と思われる。</li> <li>・若者の転出は増えていて、別の転出抑制策が必要。</li> <li>・転出者が一向に減らない。残っている人にサポートがなくなり、さらに転出する可能性もあり、取り組み方を再検討した方がいい。</li> <li>・従来からの通勤圏内の助成は不要</li> <li>・知らない人も多いと思うので、周知方法を検討した方がアピールになると思う。</li> <li>・お金では転出は止められないと思う。事業を廃止して、他事業にまわすべき。</li> </ul>
		○	8	
		△	3	
		×	4	

事業	担当課	評価		意見
15. 奨学金返済助成事業	企画情報課	◎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県で対策している。</li> <li>・3月議会で検討する方向になった内容等教えてほしい。</li> <li>・実績がない助成事業は見直しが必要。</li> <li>・理系中心に企業での実施が広がり(今後は文系も)町の併用補助について情報を知りたがっている、高校にも情報は欲しい。(卒業生とのつながりとして知っておきたい。)</li> </ul>
		○	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月議会で検討する方向で進んだ理由は？</li> <li>・アンケート結果も芳しくなく、利用者側の必要性も見えにくい。</li> <li>・補助と定住のつながりが定かではない。</li> <li>・就職先となる事業所情報の提供、居住に当たっての情報(住宅、各種手当、周辺情報等)等、包括的な措置が必要と思われる。</li> </ul>
		△	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金と定住促進は別のものと考えた方がよい。むしろ大学での研究や学びを故郷で実践する。あるいは研究を深めるという奨学金に転化してはどうか。</li> <li>・実態がないから事業として廃止すべき。</li> <li>・県内となると町内企業従事者に対象を絞ってはどうか？活用がなくても、制度として誘致の面から有効か？</li> <li>・デジタル田園都市を目指すには、最新のスキルを持った人材が必要。理系の人に特化してみても？理系人材を輩出するまちになる？</li> </ul>
		×	6	
16. 子育て世代包括支援センター活用事業	子育て応援室	◎	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの6点は高評価ではないと認識。</li> <li>・アプリを利用した発信並びに意見の収集は安心感にも繋がる。</li> <li>・「宝っこすくすくアプリ」の充実こそ、移住定住、子育てのポイント。「ほっぴーパーク」のネーミング面白い。プレパパ、プレママも。</li> <li>・課題を解決して取り組み内容を深化していくべき。</li> </ul>
		○	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績値が目標値を大きく上回っており、既にR6、7の目標も上回っている。→6点以上ではなく8点以上とする事も本当の満足度を求める上では必要かと考える。</li> <li>・もっと進めるべき。</li> </ul>
		△	1	
		×	0	



事業	担当課	評価		意見
17. 不妊治療費助成事業	子育て応援室	◎	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もニーズに沿った助成を期待します。</li> <li>・不妊治療費の助成はどのように本人に伝えているのか。ニーズはあるので、周知の方法を工夫したほうがよい。</li> <li>・ある一定成果があるので、このまま続けるべき。</li> <li>・町以外でやっているのでも不要。廃止して正解。</li> </ul>
		○	15	
		△	0	
		×	0	
18. 未就学児の教育保育の質の向上	子育て応援室	◎	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発育発達段階に応じるものとなるよう検討する。</li> <li>・オンライン活用もですが、オフラインの取組も増加させてほしい。</li> <li>・町の良さを小さい頃から理解する取組があると良い。</li> <li>・未就学児への保育の質を高める取り組みは親と行政の連携が問われる、とても大切な教育イベントではないだろうか。</li> <li>・未就学児への対応は今後も必要なのでこのまま続けるべき。</li> <li>・幼児教育はもっと推進した方がいい。</li> </ul>
		○	10	
		△	1	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
19. 児童遊戯施設整備事業	子育て応援室	◎	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい屋外施設の利用状況は？</li> <li>・箱物は近隣の地公体に任せて、それ以外の子育て支援の拡充を検討するのも良いと考える。</li> <li>・新しい屋外施設の利用状況は？</li> <li>・箱物は近隣の地公体に任せて、それ以外の子育て支援の拡充を検討するのも良いと考える。</li> <li>・遊びの場の創出はいろいろ問題点もあるが、行政しかできない取り組みであり、期待したい。</li> <li>・このまま継続すべきだが、利用状況は定期的に確認しておくべき</li> <li>・屋内施設の早期建設を期待します。</li> <li>・完成してよかった。</li> </ul>
		○	12	
		△	0	
		×	0	
20. 宝たち成長お祝い事業	子育て応援室	◎	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多子家庭向けに補助を手厚くしても良い。</li> <li>・直接の出生数が図れなくとも、成長祝金など、子育て世代への訴求力を高めることで、移住・定住への取組みにつながる</li> <li>と考える。</li> <li>・政府の「子育て支援」と連動する取り組みであり、政府に対してもっとアピールしてはどうか。</li> <li>・出生率の引き上げにつながらないが、子育て支援として有効なので続けるしかない。</li> <li>・継続意向が強く、子育て世帯の助けになっている為、継続して欲しい。反面、出生率の向上には、その他支援策の充実が必要と考えます。</li> <li>・終わっていいと思う。</li> </ul>
		○	13	
		△	0	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
21. 宝たち検 定チャレンジ 事業	学校教育課	◎	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校を支援する会として検定料の半額を補助している。</li> <li>・受験数が半分に満たないことが改善されなければ、指標の達成が困難と思う。</li> <li>・町の事業のために受験するものではないが、検定料を補助があり挑戦しやすくなる。</li> <li>・一般的な検定以外にも補助があっても良い。(プログラミングなど)</li> <li>・チャレンジする児童生徒への励ましですね。英検3級の取得率を高める工夫が必要。</li> <li>・このままでよいが、実績値を上げたいなら、もう一段のインセンティブを設けることが必要だが、それがいいかは判断が分かれる。</li> <li>・検定料の補助は必要。</li> </ul>
		○	11	
		△	2	
		×	0	
22. 宝たちビ ジネスアカデ ミー事業	生涯学習課	◎	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナも収まってきているので、地元業者だけではなく、幅広い事業者から協力を得ることも出来ると思います。</li> <li>・子どもたちにアントレプレナーシップの心を育てる貴重な取り組み。先進的であり、成果にこだわらず続けて欲しい。カリキュラムにICTを活用したビジネスも必要。</li> <li>・もう少し実践的な体験がいいのではないかな。もう一つ、今後は農業経営という観点からの教育も必要ではないかな。</li> <li>・非常に良い取り組みであるため、今後も継続してほしい。</li> <li>・ビジネス・ネットビジネス・ユーチューバー・チャットGPTなどを使いこなすクリエイター育成。プログラマーの方が今の子どもたちに向いているのではないかな。</li> </ul>
		○	10	
		△	2	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
23. 宝の縁結び事業	子育て応援室	◎	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回会議での中止・終了だったと理解。(町からも石川県の取組みに乗ると発言があった)</li> <li>・女性の登録者を増加させる取組みが必要と思われる。</li> <li>・婚活イベントはニーズでもあり、回数を増やす。</li> <li>・今後の課題として女性の登録者や婚活イベントの参加者の増加を図る必要がある。女性が参加しやすい状況を作るべきだ。</li> <li>・今の若者は恋愛をしたがらない。お見合いで「あなたに適している」と言われると結婚する気になる。推しの強いアドバイザーがマッチングアプリで相性などを判断する。</li> </ul>
		○	12	
		△	2	
		×	1	
24. 一般介護予防事業	健康福祉課	◎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIの達成度が低下傾向。</li> <li>・コロナ禍の弊害も緩和されていく中、今後の取組みの実効性が更に問われることになる。</li> <li>・この取組みを全町に広げる。</li> <li>・このまま続けて目標達成に近づけるべき。一方、どうして実績が伸びないのか、課題解決を図るべき。</li> <li>・自立化支援メニューとして、高齢者とサポーター向けの消費者トラブル対策も有益</li> <li>・eスポーツをさせる。</li> </ul>
		○	14	
		△	0	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
25. 認知症総合支援事業	健康福祉課	◎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校では「認知症サポーター養成講座」を実施(11/8と1/20の2回)</li> <li>・取組み内容も充実しており成果も上がっていることから継続していただきたい。</li> <li>・企業や小中学校で認知症サポーター養成講座を開催するなど多角的取り組みの評価は高い。</li> <li>・認知症にならないための対策も必要である。最近はアプリもあるので、利用するように薦めるのはどうか。</li> <li>・認知症専門士という介護の資格がある。サポーターの人に資格取得してもらうのは、受験費用を補助すると一石二鳥。</li> </ul>
		○	13	
		△	1	
		×	0	
26. 在宅医療・介護連携推進事業	健康福祉課	◎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み内容も充実しており成果も上がっていることから継続していただきたい。</li> <li>・エンディングノートの活用を通じて、高齢者の気落ちを楽にする、とても大切な作業。家族を巻き込んで、町の特色ある取り組みとして進めてほしい。</li> <li>・在宅医療・介護の現状は老人が老人を看ることが増えているのではないかともしそうなら、それを支援するシステムが必要なのではないか。</li> <li>・医療・介護の連携がうまくいかない理由を知りたい。ブランド化の成果を上げており、引き続き後継者や新規参加者の育成に期待したい。</li> </ul>
		○	13	
		△	1	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
27. 地域包括支援体制の整備	健康福祉課	◎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰一人取り残されることない、きめ細かいサービスの提供が必要になるため、地域ぐるみでの協力体制の更なる充実を期待する。</li> <li>・独居老人や老夫婦の世帯に支援は必要。ただ家族あるいは地域をもっと巻き込む支援が必要にも思える。</li> <li>・このまま続けるのがいい。</li> <li>・自立化支援メニューとして、高齢者とサポーター向けの消費者トラブル対策も有益</li> <li>・ヘルパー養成で稼げるようにした方がいい。</li> </ul>
		○	14	
		△	0	
		×	0	
28. 健康増進事業(がん検診)	健康づくり推進室	◎	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層も含めた健診の重要性を周知し、企業・団体等への協力要請も行いつつ、受診率向上に努めてほしい。</li> <li>・がん検診の受診率を向上させるために、がんをテーマにした講演会を定期的に開くことも検討してはどうか。</li> <li>・インセンティブを設けて、がん検診率を上げるべき。</li> <li>・しっかりやっていると思う。</li> </ul>
		○	13	
		△	0	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
29. 健康増進事業(特定健診・保健指導)	健康づくり推進室	◎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き盛りの世代(40代・50代)の受診率を上げるための具体的施策はあるのか？</li> <li>・若い40代、50代の受診率が低いことは全国的な特徴。ただ職場や団体に定期的な検診を受けているケースが多い。</li> <li>・特定健診受診率の目標は低いように感じる。呼びかけても受診しないのだから何かしらのインセンティブが必要なのではないか。</li> <li>・しっかりやっていると思う。</li> </ul>
		○	14	
		△	0	
		×	0	
30. 地域組織育成事業	健康づくり推進室	◎	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育講座の実施(12/19)</li> <li>・KPIの「健康づくり推進員活動」において参加回数が目標値から大幅に下回っているが、参加総数はクリアしている点を見れば、参加回数目標値の設定方法に問題があったのか？</li> <li>・今、全国的に動きがある。学校給食に無農薬野菜を使う取り組みを行うことで食生活改善の動きも活発になる。</li> <li>・今後新規の担い手を探しつつ、現状を発展させていくべき。</li> <li>・しっかりやっていると思う。</li> </ul>
		○	13	
		△	2	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
31. 地域交通政策推進事業	企画情報課	◎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性について再考する。</li> <li>・KPIの不満度の減少、目標値が35%という内容がわかりにくい。</li> <li>・昨年も提案したが、宝達志水町だけではなく、羽咋市等も含めた広域で交通は検討すべき。</li> <li>・他の手段への移行もありコミュニティバスの利用率が減少のため本数の削減なども検討。(その費用を別の仕組みに活用)</li> <li>・「生活の足」は確保するのは、高齢者地域では難しい。スーパーやコンビニのネット通販など多角的な対策が必要。</li> <li>・コミュニティバスの利用は、不便を感じるので、やはり改善の余地があるのではないか。</li> <li>・デマンドタクシー使いにくい。地域の住民がタクシードライバーみたいに乗り合って買い物に行くとポイントがもらえるのはどうでしょう。</li> </ul>
		○	12	
		△	2	
		×	0	
32. 地域行事サポート事業	総務課	◎	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動等の見直し。</li> <li>・地域行事の様子(特にサポート現場)を高校生に伝える方法はないだろうか。(現場への参加でなくとも良い)</li> <li>・近年の気候変動により、大雪や他の災害等への対処は急務となっていることから、北志雄地区(モデル地区)での成果を基に、他の地域への横展開を早期に進めるべき。</li> <li>・地域間交流に大学生や高校生が参加することで活発になったり、広がったりする。</li> <li>・今後集落間の交流拡大を図るために何か大きな仕掛けが必要なのではないか?</li> </ul>
		○	13	
		△	2	
		×	0	



事業	担当課	評価	意見
その他			<ul style="list-style-type: none"><li>・町の取り組む事業が多すぎると思う。事業の優先順位を定め、もっとスピーディーに進めてほしい。</li><li>・若い女性の転出超過の改善には思い切った子育て支援が必要。宝達志水町は近隣市町と比べて子育て支援が見劣りする。保育料の減免、学校給食費の無償化など近隣市町が制度を充実させる中で宝達志水町には制度がない。結婚し、これから子育てをしていく世代はどの町を選ぶか。限られた財源の中でハードルは高いと思うが、若者の人口流出を抑制するにはマンネリ化した補助事業を潰してでも近隣市町に見劣りしない子育て支援策をすべきではないか。</li><li>・32項目にわたり、詳細なデータがあり、とても参考になり、そして勉強になりました。7月5日の会議でさらに論議が深めることを期待しています。</li></ul>

事業	担当課	評価	意見
その他			